

基本情報						
教科・科目		高3理系（国立）	授業で使用するもの ・教科書「ちくま 文学講読 上級編」（ちくま書房） ・「大学入試に出た核心漢字2500＋語彙1000」（尚文出版） ・「評論・小説を読むための新現代文単語」（いいずな書店）			
担当者		北村				
評価割合（試験：試験外）		試験:6（60%） 試験外:4（40%）漢字テスト、ワークシート等課題の提出内容				
年間を通じて教科で培う力		鍛錬（知識及び技能）	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。			
		理解（思考力・判断力・表現力等）	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。			
		探究・観智（主体的に学習に取り組む態度）	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			
学習情報						
月	回	単元（学習）目標	単元目的（到達状態）	学習内容	活動内容	評価方法・ポイント
4		「舞姫」	明治の代表的な文語文が持つ魅力について理解を深め、自らの表現に役立てる。	森鷗外の文体・文学的知識・思想をとおして、近代という時代や人間の生き方について知識を深め、自らに引き寄せて考察する。	ワークシート、 ディスカッション	・小テスト ・授業および課題への取り組み ・定期テスト
5		「水仙」	生き方を貫こうとすること、そのことが直面する問題に向き合い、自らの生きる姿勢について考える。	太宰治の文体・文学的知識・思想をとおして、「芸術」に対する考え方を理解し、特別な「天才」の苦悩としてではなく、「各人の本分」という学習者自身の問題として作品を読み解く。	ワークシート、 ディスカッション	・小テスト ・授業および課題への取り組み ・定期テスト
6	定期試験① 2026年 6月3日―6月5日					
6		「陰翳礼讃」	「陰翳」が生み出す文化についての筆者の主張を理解する。	谷崎潤一郎の文体・文学的知識・思想をとおして、人間や日本の文化について自分なりの理解と考えを深める。	ワークシート、 ディスカッション	・小テスト ・授業および課題への取り組み ・定期テスト
7		「無常ということ」	古典によって現代の感覚や考え方を捉え直す、筆者の発想から学びを得る。	小林秀雄の文体・文学的知識・思想をとおして独特の比喩や対比表現を味わい、近代主義批判の要点を「歴史」という概念を中心に整理する。	ワークシート、 ディスカッション	・小テスト ・授業および課題への取り組み ・定期テスト
7	定期試験② 2026年7月15日―7月17日					
1 9 ・ 1 1 0 2 ・		入試問題演習 （評論）	入試問題傾向を掴み、解答を導くための実践を積む	共テ・私大入試過去問等を活用した問題演習	問題演習	・小テスト ・問題演習への取り組み
1 ・ 2		入試問題演習 （評論）	入試問題傾向を掴み、解答を導くための実践を積む	共テ二次・上位私大入試過去問等を活用した問題演習	問題演習	・小テスト ・問題演習への取り組み